

森の風



帯広市立森の里小学校
学校だより

平成 30 年 10 月 12 日

第 18 号

～学校と家庭と地域を結ぶ通信～

平成 30 年度 全国学力・学習状況調査の結果(概要)

今年度 4 月に実施された全国学力・学習状況調査結果が届きましたので、本校の傾向について概要をお知らせいたします。

- <国語 A> 平均正答率は、全道・全国平均を大きく上回りました。特に、書く力が高い結果でした。今後、さらに力を高めるために、漢字を文の中で正しく使う指導を継続します。
- <国語 B> 平均正答率は、全道・全国平均を上回りました。今後、さらに力を高めるために、文章を読むことに親しむ読書活動を家庭と連携して取り組むことが必要です。
- <算数 A> 平均正答率は、全道・全国平均を上回りました。今後、さらに力を高めるために、公式の復習を徹底し、繰り返し学習を継続していきます。
- <算数 B> 平均正答率は、全道・全国平均を上回りました。今後、さらに力を高めるために、算数の学習と日常生活とを関連付けた指導を工夫し、子ども達の学ぶ意欲を向上させます。
- <理 科> 平均正答率は、全道・全国平均を大きく上回りました。特に、生命に関する力が確実に身に付いていました。

A 問題は基礎的な「知識」を問う内容、**B 問題**は学んだ知識を「活用」する力を問う内容です。

<学習状況>

よい傾向	課 題
○基本的な生活習慣が身に付いている。「朝食を毎日食べる。」「毎日寝起きする時刻が同じくらいである。」と答えた割合が全道・全国よりも高い。	△自己肯定感が低い傾向にある。「自分には、よいところがあると思う。」と答えた児童の割合が全道・全国よりも低い。
○「先生は、あなたのよいところを認めてくれている。」と答えた児童の割合が全道・全国よりも高い。	△学校の授業時間以外に、普段、全く読書しない児童の割合が全道・全国よりも多い。
○人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。	△地域の行事に参加したりボランティア活動に参加したりする児童の割合が全道・全国よりも少ない。
○算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている児童が多い。	△算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている児童の割合が全道・全国よりも少ない。
○ほぼ全員が、家で学校の宿題をする。	

なお、詳しい分析や学校としての改善策については、後日 HP で改めてお知らせいたします。

1年佐藤学級 算数科授業公開

1学期から各学級で続けてきた校内研究授業。その都度、成果や課題を確認しながら進めてきました。先日行われた1年2組の校内研究授業でも、成果や課題となっていた部分を、1年生の児童に合わせて上手に授業に取り入れていました。これが、先生達全員で取り組む校内研究のよさなのです。



自分の考えの伝え方が上手でした。(ペア学習)

学芸会のテーマ「思い出に残る最高の舞台にしよう!!」

練習の様子を見ていると、どの学年も意欲的で、生き生きと取り組んでいるように感じます。学芸会のように大きな行事をとおして、子ども達は一回りも二回りも成長するのです。今、子ども達はとても輝いています。19日の本番では、多くの観客の前で精一杯表現する子ども達の姿をご覧いただけるかと思います。どうぞお楽しみに！



森の子

手作り太鼓を音楽に合わせて元気いっぱいたたきます。



4年生

先生がいなくても声をかけかって練習する姿に感動！



5年生

難しい器楽合奏も友達と教え合いながらどんどん上達しています。

保護者の方々のご協力、
ありがとうございました。



集団登校訓練



親子ガラス拭き



6年生

最後の学芸会。みんなの思いはひとつ。最高の舞台にすることです。